

小樽港クルーズセミナーを開催 ～「飛鳥Ⅱ」船内見学会及び講演でクルーズ客船を身近に体感～

令和8年6月28日（日）、小樽港にて、小樽港クルーズ推進協議会主催の「小樽港クルーズセミナー」が開催されました。

小樽市在住の方や小樽クルーズ客船歓迎クラブに加入されている方を対象に、30名の方にご参加いただきました。

2部制に分かれており、第1部では、飛鳥Ⅱの船内見学会を実施しました。郵船クルーズ株式会社様の社員及び飛鳥Ⅱのスタッフの方による案内を受けました。

初寄港の際に寄贈されたレリーフを飾る通路が注目を集めており、レリーフには、各都市を象徴するデザインが施されておりました。

壁一面に飾られていたレリーフの数々に、参加者の皆様は興味深そうに見入っておりました。

展示品以外にも、多数のレリーフがあるとの説明があり、飛鳥Ⅱが世界各地の港を訪れてきた歴史の長さを実感する機会となりました。



小樽港に停泊する飛鳥Ⅱ



初寄港時に贈呈される
レリーフ



講演の様子

第2部では、郵船クルーズ株式会社様より、「クルーズ船で過ごす1日」と題した講演が行われました。

クルーズ客船の基礎知識から、飛鳥Ⅱと飛鳥Ⅲの魅力について紹介がありました。

飛鳥Ⅲでは、各都道府県をモチーフにした客室が設けられていることなど、両船の特徴や違いについての説明もありました。

また、船内で働くスタッフの勤務スケジュールなど、パンフレットやホームページでは知ることのできないエピソードもあり、参加者の皆様は熱心に耳を傾けていました。

今回のセミナーでは、船内見学会及び講演を通じて、参加者の皆様にクルーズ客船をより身近に感じていただける貴重な機会となったものと思います。

今後も小樽港クルーズ推進協議会と連携しながら、クルーズ客船の魅力を発信するとともに、北海道クルーズ振興協議会でも多くの方々に関心を深めていただけるような企画を開催して参ります。